

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」天白校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数)	48
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ~ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い分野での支援を行うことができる。	公認心理師、教員免許保有者を配置し、様々な特性を持つ利用者に合わせた支援を行っている。	職員間で情報を共有することにより、支援方法の改善につなげていく。
2	子どもにとって安心できる居場所となることができる。	子どもの考え方や気持ちを尊重して支援プログラムを組み立てているので、「きらり」が安心して過ごせる居場所となっている。	よりコミュニケーションを活発にすることにより、何でも相談できる環境を整える。
3	様々なイベントを行っている。	事業所内での季節ごとのイベントに加え、お買い物イベントのように外に出かけていくイベントも開催している。	事業所の外に出かけるイベントをより充実させることにより地域との交流を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流の推進。	徐々に回復してきているものの、コロナ禍により、支援中に待ちに残る保護者の方が少なくなり、顔を合わせる機会が少なくなってしまった。	保護者参加型のイベントを充実させることにより交流を図っていく。
2	園や学校との連携を図る。	保護者が学校の支援計画を提供してくださることはあるものの、直接情報共有を図ることはしていない。	保護者から要望があれば、積極的に担当者会議等を開催し情報共有していきたい。
3	地域交流の推進。	買い物イベントで地域の店舗を利用する事はあるものの、地域の他の子どもと交流する機会は設定していない。	回覧板で、地域の行事は把握できているので、療育の時間に合わせができる場合は積極的に参加したい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月14日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」天白校

利用児童数 54人 (48家族)

回収数： 48

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	8	1	0	野球などのスポーツをするには狭いと感じる。駐車場が整備されていない。机での学習には十分ですが、ボール遊びは同伴の保護者や待っている人がいる時は難しいと感じます。 (他のお子さんが遊んでいたボールが頭に当たったことがあります) 15畳程度の広さで4人を受け入れるにあたって、仕切りのみでは様子も丸見えですし、大きな声を出す子や歩き回っている子もいる中で集中しづらいとは思います。	ボール遊び等の運動は状況に配慮して行っています。 駐車場は清掃は行いますが、駐車枠を書くなどの改変は大家さんと相談したいと思います。療育室を壁で仕切ることは、教室の広さの関係から難しいので、療育時間をずらすなどの工夫をして集中できる環境を作りたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	38	6	0	4	担当職員が短期間で複数回変更されると職員に慣れるまでに時間がかかり、学習がなかなか進みません。他の教室のように、フィードバックの時間に子供の相手をしてくれる職員の方がいれば、ゆっくり話が聞けると思います。	職員が定着するように努力します。 フィードバック時の過ごし方も改善していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	5	3	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	8	3	1	空間的には個室になっているが、周りの声が聞こえすぎる所以集中できるのか不安に思う。清潔ではない。入口や普段目に入らない所は汚い施設が古いこともあるかと思いますが、窓辺やカーペット部分、エアコンの掃除は行き届いていないとは思います。通所の後に喘息が出ることがあります。	毎日の清掃、定期的な点検で環境を整えたいと思います。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	6	0	1	こちらが要望を言う事が多いので、専門的にどうしたらしいのか、どういう勉強していった方がいいのかの意見も聞けたらいいかなと思います。子供の反応も見ながらレベルにあったものを提供してくれていると思います。	フィードバックの時間を活用して話し合っていけたらと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	4	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	41	6	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	3	1	3	計画を立案していただいてから、その計画の評価や面談をされていないように思います。そのため現在目標が子どもに合っているのかどうかやや疑問です。	確実にアセスメントや面談を行っていきたいと思います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	3	0	1	前のものと同じです。	計画に沿った支援を実施していきます。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	7	0	1	毎回わりと同じことをやっている気もしますが、学んでいる過程なので繰り返しも必要だと思います。今後は本人の習得具合に合わせてレベルを上げたり内容を変えたりしてくれると思っています。	お子さんの理解度を見極め、実情に合った課題を要するよう努めています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	5	14	17	特に求めてもらっていないので問題はありません。学校、子ども会等で機会あります。	地域との交流は現在検討中です、
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	6	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	8	1	1	初めての時にはありましたが、その後は一度も説明はありません。	確実実施していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	9	7	16		
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	45	3	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	9	7	7	9月から通い始めましたが、特にまだありません。	面談等ご希望があれば実施します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	1	0	3		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	9	9	16	9月から通い始めましたが、特にまだありません。	家族参加型のイベントを企画し、交流を図りたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	6	1	6		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	2	1	1	空き具合を積極的に教えて頂いたり利用しやすい環境だと思います。	今後も情報発信に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	8	3	12		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	6	2	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	6	4	17	まだ訓練のタイミングにあたっていないだけかもしれません。	支援時間の中で行ってはいますが、全員もれなく行うようになります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	38	1	2	7	計画は特に聞いた記憶がありません。スタート時の資料に書いてあるのかもしれません。軽い仕切りだけだと、他の子が投げたボールなどが飛んでくることはありました。	計画をより分かりやすいように配慮します。ボールなど動きの予測が難しいものについては状況に配慮して使っていきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	4	2	12	まだそれ程長い期間通所していない為。	何かあった場合は丁寧に説明したいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	45	2	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	10	0	1	気分による	常に楽しく通っていただけるように努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	7	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」天白校	公表日	2026年 2月 14日	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	工夫している点 法令を遵守したスペースを確保している。集中できるように療育スペースはパーテーション等で区切られている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	法令で必要とされる職員配置を行っている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	カーペットや壁面表示等により、活動スペースが分かるようになっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	担当、時間を決めて教室内の清掃を行い清潔な環境にしている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	壁で仕切られて腰があり、利用者の状況によって使用している。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	各業務について職員間で共有し改善している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	評価表の内容をミーティングで共有し、改善を図るようにしている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	ミーティングや連絡スペースなどを活用し、意見交換を行っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	社内で内部監査を行い、業務改善につなげている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	事例検討会、テーマ研修などの社内研修や、社外の研修に参加している。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	待合に掲示されている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	アセスメントシートや支援記録、フィードバック時の保護者との意見交換などから作成している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	検討会議や支援計画の回覧により、適切な支援計画かどうかを検討している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	支援計画の内容は共有され、計画に沿った支援となるよう意識している。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	子どもの状態について多角的な視点でアセスメントすることができている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	必要な項目が設定してあり、利用者の実情に応じた支援内容が設定されている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい <input type="radio"/>	いいえ <input type="radio"/>	日々のミーティングで支援内容について振り返りを行い活動プログラムの改善に生かしている。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	利用者の実情に応じて、プログラムの内容を変更している。	常に利用者の実情に合った内容になっているか検討する。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	必要に応じてイベントを開催し、小集団で取り組むプログラムを実施している。	特に問題なし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	毎日のミーティングで支援の確認を行っている。	より連携した支援を実施するようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	毎日のミーティングで支援の振り返りを行い、改善点を話し合っている。	特に問題なし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	確実に支援記録を記載し、支援内容の検証を行っている。	特に問題なし。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	必要に応じて、支援計画の見直しを行っている。	モニタリングや普段の聞き取りをより充実させていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>	「4つの基本活動」を組み合わせて支援を行っている。	地域交流を充実させていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	複数のプログラムを用意し、自分で選択したり、順番を決めたりできるようにしている。	特に問題なし。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	会議には、児発管と担当指導員が参加し、意見交換を行っている。	今後も連携を密にしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	必要に応じて対応している。	要望があれば、保護者の意向を汲みながら適切に対応していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	保護者を通して行っている。	必要に応じて行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>	保護者や、担当者会議を通して行っている。	今後も情報共有に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>	該当する利用者が今までにいなかった。	当面該当する利用者はいないが、準備はしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	研修の場などで助言を受けている。	特に問題なし。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	時間の調整がつかないため未実施。	未終焉の利用者から希望があれば実施したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	参加している。	特に問題なし。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	支援のフィードバック時に、発達の状況や課題について共有するようにしている。	特に問題なし。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	フィードバック時に、どのような支援が効果的であったかなどの情報を提供している。	必要に応じて研修会の実施を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	契約時に丁寧に説明するようにしている。	問い合わせ等にも丁寧に対応していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	支援計画について、意向に合ったものになっているか確認している。	日々内容の検討を行うようにする。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	説明し、同意を得ている。	より丁寧な説明に心がける。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		フィードバック時に、話し合いの中で行っている。	必要に応じて面談の場を設定していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		イベントに保護者も一緒に参加することで交流を図っている。	特に問題なし。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		相談や申し入れについて職員間で共有し対応策を立てている。	適切な対応に心がけていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		HPやSNSでの発信を行っている。	定期的な更新を行うようにする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		適切に管理している。	特に問題なし。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		職員間で障がいの特性を共有し対応している。	特に問題なし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	地域の活動には協力している。	フリー開校日を設けるなど、事業所を知ってもらう機会を作る。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルを作成し、訓練を実施している。	マニュアルや訓練実施の内容を周知するようみたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		業務継続計画を策定し、定期的に訓練を行っている。	計画や訓練の内容を周知するようみたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		フェイスシートや聞き取り、アンケートなどで確認している。	特に問題なし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		イベント等で飲食を行う場合にはアレルゲンフリーの素材を用意している。	特に問題なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画のもと、研修訓練を行っている。	特に問題なし。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		災害時の対応について掲示し、周知している。	周知が徹底するよう努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ミーティング等で共有し、防止策を講じている。	今後も予防に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		マニュアルを作成し、職員間で共通理解を図って入る。	特に問題なし。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		契約時に身体拘束適正化について丁寧に説明し、同意を得ている。	特に問題なし。